

# 西多摩医師会報

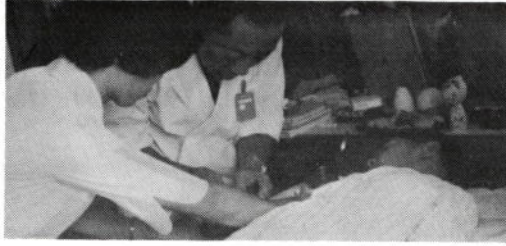
第51号 昭和51年12月



天地嶽冬晴

## 目次

風疹流行後の保育園児の抗体調査 松原貞一・西村邦康……………1	三多摩医師懇親会……………17
最近3年間に経験した小児頭部外傷500例 の統計的観察……………奥出定明 他……………5	武蔵野医師会10周年記念……………17
「新中国23日間見て歩き」(第3回) 加藤 出……………7	理事会報告……………17
欧米視察第15話 東ベルリンに行く 三沢剛文……………11	学術講演会 一般医に必要な眼科・耳鼻科の知識 吉野住雄……………19
甲斐路の雑想……………佐々木太郎……………13	医師会日誌……………19
東北の紅葉をたづねて……………近藤友好……………14	昭和52年新年会予告……………20
私は棒に負けた……………米谷豊光……………16	写真展の御案内……………20
東京都医師会役員と西多摩医師会役員との懇親会……………16	ゴルフ部報告……………20
	年末・年始の事務室のお休みについて……………20
	ひとごとでない話……………M.U.……………21



昨年末東京で流行し始めた風疹は、羽村地区においても本年2月より患者発生をみ始め、4月新学期を迎えて流行はピークに達し、7月夏休みを前にして終焉をみた。風疹は臨床的に軽症である割に胎児に及ぼす影響が大であること、学校・保育園で長期に渡って流行するという2点で問題となる伝染病である。更に近年風疹抗体が比較的簡単に測れるようになってから、催奇性の問題よりハイティーンの女性を中心に抗体価の測定研究が盛んになり、又抗体価の面から流行の方法・疫学的調査をすることも可能になった。我々は今回の大流行が終りその疫学調査を計画するに当って、流行前の抗体価が殆ど0であろうと思われる0～6才児を収容している保育園を対象に選び、園児全員の抗体測定を行うことにより抗体値の変動・感染率・不顕性感染率、更には誤診率も含めて調査を行なった。

調査方法

羽村町町立白梅・東の両保育園の園児161名、保母20名の採血を行い、HI抗体値を測定した。採血時期は9月中旬で、両保育園での流行終焉後約3ヶ月目に相当する。顕性感染発症の有無・発症の時期は、主治医より発行される通園許可の診断書により決定し、感染経路・母親の風疹感染歴などもアンケート票により調査した。

表 1

園名	年令	0	1	2	3	4	5	6才	計
東			1	5	17	14	23	8	68
	白梅	1	5	12	7	25	26	17	93
計		1	6	17	24	39	49	25	161名

調査成績

1.) 流行の状況

表 2

園名	月	その他	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
東		46.11	2	4	12	17	10		46
白梅			1	10	40	11	10		72
計		1	3	14	52	28	20		118

公衆衛生部 松原貞一  
学術部 西村邦康

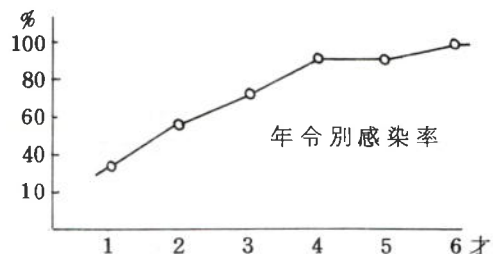
表2は両保育園別に発病状況を示したもので、両保育園とも本年2月より患者が発生し始め、6月中に流行は終焉し夏休みを前に7月には患者の発生をみなかった。従って園内における流行は5ヶ月間に及んでおり、白梅保育園においては4月に全体の56%に当たる40名の爆発的な患者発生をみているが、東保育園では5月を峠にわたる流行の型をとっている。甲野ら<sup>1)</sup>は小学校の流行を2.5ヶ月～3ヶ月とし、川名ら<sup>2)</sup>は東北での流行中一市町村で3～5ヶ月間患者が続発するという。離島などでは短期爆発的流行をみることがあり、感受性者の多い状況下では流行の伝播速度が速いとされているが、本調査では対象は殆ど抗体陰性集団であると思われるのに、その流行は5ヶ月の永きに渡っている。

2) 抗体保有値よりみた感染率

国立衛生研究所で昭和49年9月～11月の間にを行った調査によれば、0～9才の小児100名中風疹HI抗体は<8の者98名、8倍1名・16倍1名となっており、本調査の対象とした0～6才児の流行前の抗体価は殆ど<8であったと考えてよい。

表 3

園児	年令	0	1	2	3	4	5	6	計
総数		1	6	17	24	39	49	25	161
感染者		1	2	10	18	35	43	25	134
感染率		100%	33%	59%	75%	90%	88%	100%	83.2%



前記表3及び図は感染率を年齢別に調べたもので、明らかに年少児程風疹に罹患し難いことが分り、一才の子でよく風邪をひき易いにも拘らず5ヶ月に渡る園内の流行と母親の不顕性感染(抗体512倍)という状況下で、その抗体価は<8であった例もある。園児161名中抗体の上昇より感染したと思われるもの134名・83.2%であった。

山本ら<sup>3)</sup>の自衛隊での調査では流行後の抗体保有率は100%であったのに比し、田畑ら<sup>4)</sup>の保育園児4~5才40名のCF抗体調査よりは感染率は73%とされ、文献的にも年少児の感染率は低い。

表 4

抗体価	<8	16	32	64	128	256	512
保母数	0	7	7	2	2	1	1人

表4は保母20名の抗体価を示したもので、流行後の抗体保有率は100%であった。

表 5

年齢 抗体値	0	1	2	3	4	5	6才	計
<8		4	7	6	4	6		27
16								
32					1			1
64				1	3	3	3	10
128	1		4	7	16	14	7	49
256		1	3	5	11	21	14	55
512		1	3	5	4	5	1	19
計	1	6	17	24	39	49	25	161名

表5は年齢別に抗体価をみたもので、5ヶ月に渡る流行にも拘らず<8で感染しなかった園児は161名中27名16.8%であった。抗体価の上昇をみた者の90%は128倍以上を示しており、64倍10名・34倍は僅かに1名であった。風疹HI抗体価推移のパターンについては諸家の報告があるが、多くは発病初期か数年後の抗体価の推移を追跡しているにすぎず、本調査のような発病後30日から10ヶ月位の期間の症例は少ないといわれている。又HI抗体価は発病10日目あたりまでに可成りのレベルに上昇し、以後60日目あたりまでは目立った動きは認められず、発病後3ヶ月の抗体価は平均

256倍前後とされている<sup>5)</sup>のに、本調査では流行の中心より約5ヶ月後に抗体価の算術平均は154倍となり、感染後約半年すれば抗体価は低下し始めることが判る。

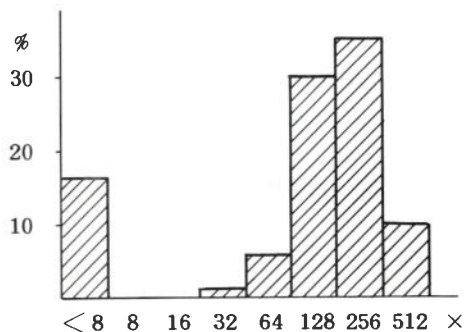


表6は、診断書が提出され風疹として休園した者を発病(+)群とし、流行中休園することなくきびしい保母の観察下でも発症しなかったと思われるものを発病(-)群とし、それぞれ抗体価を表したものである。

表 6

発 病 (-)		0才	1才	2才	3才	4才	5才	6才	
	<8		3	5	6	4	3		21
	16								
	32					1			1
	64							2	2
	128	1		1	1	2	5		10
	256				1		5	2	8
	512						1		1
		1	3	6	8	7	14	4	143

発 病 (+)		0才	1才	2才	3才	4才	5才	6才	
	<8		1	2			3		6
	16								
	32								
	64				1	3	3	1	8
	128			3	6	14	9	7	39
	256		1	3	4	11	16	12	47
	512		1	3	5	4	4	1	18
		3	11	16	32	35	21	118	

5ヶ月の流行期間中保育園を休まず保母の注意



(4)

深い観察下でもついに発症した様子がなく、元気で通園していた43名中22名に抗体価の上昇をみた。即ち不顕性感染は発病(-)群43名中22名・51.2%であり、抗体価の上昇した感染群134名の16.4%に相当する。従って顕性感染は感染児134名中112名で83.6%となる。永山ら<sup>6)</sup>の離島における調査では不顕性感染率は18%とされているが、一般的には20~30%といわれている。しかし今回のように保育園で少しでも発熱・発疹・リンパ腺腫脹などがあれば直ちに受診をすすめ診断書の提出を求めたりして、厳密に臨床観察を行えば不顕性感染率は16.4%と可成り低い値となることが判る。

## 3) 誤診率

表6の発病(+)群即ち医師より臨床的に風疹と診断された118名中6名は抗体価が<8であり、118名中6名即ち5%の誤診率があることが判る。

## 4) 感染源

表7は潜伏期を考慮してどこから感染したと思われるかを、保護者にアンケートにより調査した結果であり、予想通り保育園で感染したと思えるものが多かった。

表 7

感染源 園名	保育園	家族	その他
東	25 (54%)	11 (24%)	10 (22%)
白 梅	44 (61%)	17 (24%)	11 (15%)
計	69 (58%)	28 (24%)	21 (18%)

## 5) 母親の感染歴

アンケートにより母親に「あなたは風疹に罹ったことがありますか」という質問に、「ある」と答えたもの19名(12%)「ない」と答えたもの46名(28%)、「分らない」と答えたもの96名(60%)であり、49年度予研の抗体価調査より成人の約80%は免疫があるという成績より、風疹の病歴に関する限り母親の答は全く当てにならないことが判る。尚161名の母親の内、今回の流行で発症感染したと思われるものが12名あり母親全体の7.5%に相当し、保母20名中発病したものの1名の5%

と大体一致する。

## 結 論

抗体価より流行の経緯を観察するためには、先ずその対象が流行前抗体陰性群であることが望ましい。これ迄諸家の抗体測定の結果より、殆どが陰性集団であると考えられる年小児の保育園2ヶ所を選んで風疹抗体調査を行い、次のような結論を得た。

- 1) 保育園内の流行期間 5ヶ月
- 2) 0~6才の園児161名中  
感染率 83.2% (134/161名)  

顕性感染	83.6% (112/134名)
不顕性感染	16.4% (22/134名)

 非感染率 16.8% (27/161名)
- 3) 年少児程感染し難い。
- 4) 感染後半年すると抗体は低下し始める。
- 5) 誤診率 5% (6/118名)

前述の如く風疹はその臨床経過が軽症であるにもかかわらず、催奇性の点で色々問題となりワクチンの開発迄なされている疾患である。成人の病歴聴取による免疫の有無の判定は全く不可能であり、更に臨床診断でも5%の誤診がある所から、この子供達が成人した時妊娠を前にしてはもう一度抗体測定を行わなければ、厳密な意味で催奇性の問題を否定することは出来ないようである。

## 文 献

- 1) 甲野 礼作: 日医雑誌 55, 1443~1459, 1966
- 2) 川名林治外: ウイルス 16, 333~339, 1966
- 3) 山本正弘外: 伝染病学会誌 43, 37~43, 1969
- 4) 田畑栄治外: ウイルス 16, 331~332, 1966
- 5) 村瀬 敏郎: 江戸川区医師会報 29, 23~31, 1972
- 6) 永山徳郎外: ウイルス 16, 323~328, 1966



(6)

ばれますが、来院手段は表Ⅱのように救急車利用が79.6%と非常に高い数値を示しています。交通事故に於ても70.2%と救急車利用率が高く、交通事故は公道上の特殊状況下と、合併損傷が多い為に、より専門的な救急対応策を必要とする一般の判断によるものと考察されます。

図一Ⅱ

受傷機転

交通事故 316 (63.2%)	△ 自動車	98 / 71	19.6%
	△ 自転車	28 / 18	5.6%
	自転車 四輪車	74 / 69	14.8%
	四輪車同乗中 他車	11 / 6	2.2%
	自転車単独事故	84 / 76	16.8%
	自転車同士の事故	21 / 11	4.2%
その他の自転車事故	41 / 38	8.2%	
転落事故	階段	45 / 25	9.0%
	その他	38 / 20	7.6%
歩行転倒	戸内	24 / 11	4.8%
	戸外	17 / 10	3.4%
	その他	19 / 9	3.8%

総計 500 < 男性 364 (72.8%)  
女性 136 (27.2%)

来院手段

受傷地点より直接来院	救急車利用	398	79.6%
	交	277	69.6%
	他の車の利用	41	8.2%
	交	11	26.8%
	人杖歩行来院	12	2.4%
	交	0	
他院よりの転院	救急車利用	5	1.0%
	交	0	
	救急車利用	36	7.2%
	交	28	77.8%
	他の車の利用	8	1.6%
	交	0	
人杖歩行来院	0		
交	0		
雑歩	0		
交	0		

収容された症例の入院期間は2週間以内は64.6%と半数以上を示しています。頭部外傷の入院期間の長さは、頭部以外の合併損傷の程度による事も多く、特に頭部以外の骨折を認めるものでは当然長くなっています。概して頭蓋骨骨折・開頭術施行例・脳挫傷の症例では比較的長期にわたっています。各入院期間の症例に占める交通事故者数をみまると、交通事故を原因とする程、重傷になってきております。死亡例15例は、全例3日以内の死亡となっており、小児では危急の転帰をとるようです。

頭部外傷の分類では、単純頭部外傷は268名 - 53.6%と比較的多く、小児では頭部の外傷というだけで医療施設に送られてくる特殊性を如実に示しています。脳振盪症 187例についてみますと、概して小児に於ては外傷時の事情聴取は極めて困難で、痛覚に対する号泣反応及び親への呼びかけが一つの緩解所見として脳振盪の経時的判断にとり入れています。頭蓋内血腫は、いずれも開頭術を施行した症例で、全例全治の転帰をとっています。

図一Ⅲ 入院期間

			頭蓋骨骨折	合併損傷 骨折あり骨折なし	開頭術施行例
1週	185 (15)	37 %	9 (9)	(11)	0
交	65	20.6%			
2週	138	27.6%	0	5	133
交	101	32 %			
3週	65	13 %	1	5	60
交	51	16.1%			
4週	60	12 %	3	18	42
交	52	16.5%			
4週以上	52	10.4%	25	50	2
交	47	14.9%			13

( )内死亡

単純頭部外傷	268
脳振盪	187
脳挫傷	21
頭蓋内血腫	{ 硬膜内 2 硬膜外 11 脳内 0
頸椎損傷	11

自觉症状については表のようですが、500に対する愁訴の複数比は3.46で、単一愁訴は認めていません。嘔吐症状を主訴にして来院する例も多く、外来の小児頭部外傷を含めると88%にのぼっています。検査については、救急収容時に頭部のX線検査と超音波検査を、脳神経学的生理機能検査と同時に施行しています。脳波の救急時における検査施行は少なく、多くは入院経過中に行っています。脳血管写は意識障碍の進行度と脳神経学的偏差所見のもとに適応を決めています。成人に比較して小児の検査時の静止位置を確保することが極めて困難である為、それだけに脳神経学的所見の適確な把握が重大となります。死亡例15例は3~5才に多く見られます。この統計以外に交通事

故・転落による即死例は、受傷時点での検死を行う為に病院に搬送されていませんので死亡実数はかなり多くなっています。

小児の頭部外傷は、比較的4才から6才に多く、しかも交通事故及び転落による損傷の程度は重傷の傾向を示しております。開頭術を施行した症例をみましても7才以下が8例あり、6才以下の死亡例では10例を数えています。春から夏にかけての屋外での受傷が多く、親の監視下でない状態での受傷は、その大半を占める事と、歩行バランスの不如意、軀幹に対する頭部の比率の大きい事が容易に頭部外傷を招来している事を認めました。比較的小児の頭部外傷は、はやい一時期に全身症状を強く認めます。その急性期にあって小児に脳血管写検査を施行するには、手技の困難さと、患者の適応位置の確保が極めてむづかしく、その適応範囲は成人に比して厳しく制限される憂いがあるようです。従って腫孔及び四肢体動の脳神経学的生理機能の左右差と意識障碍進行度を経時的に観察する必要があります。症例の中には、頭部の表在性損傷のいわゆるMinor Injuryでも開頭手術に至っており、又頭蓋骨骨折を認めた症例に於ても症状が軽快して早期に退院する例もあります。小児の頭部外傷の推移は受傷程度に反して多様性を示し、合併損傷のある場合は複雑となり、転帰の早い事は医師の監視下範囲において、患児の観察を必要とする事をもっとも好ましい条件のように思えます。

図 - IV

自覚症状

頭痛	394
嘔吐	388
悪心	364
腹痛	128
頸部痛	38
めまい	12
合併損傷疼痛	406

500に対する比率…… 3.46

レ線検査	500	100%	} 472 94%	} 460 92%
超音波検査	472	94%		
脳液	463	93%		
脳血管写検査	24	4.8%		

脳神経学的生理機能検査を除く

死亡例

年齢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12才
数	0	0	4	3	2	1	0	1	2	1	1	0

- 転落(戸外)…………… 3
- 人-自動車…………… 7
- 自転車-自動車…………… 5

「新中国23日間見て歩き」(第3回)

加藤 出

北京動物園見物：動物園の広さはさして驚く程でもなかったし、収容してある動物もどこの国のものも同じ様であろう。しかし中国特産のパンダは10頭近くもいてさすがという感じ、また獅子館という建物の中のライオン・虎類には多くの人が入り子供も多く入って見ていたところ、目の前でライオンの交尾が行われたのには驚いた、北京に来てライオンの性活動を見るときは思わなかった。惜しいことに人が群がっていて写真をとることは出来なかった。

夜は中日友好協会副会長張香山先生主催の歓迎宴が北京飯店において開催され、軍の高級者も数名姿を見せて、なごやかな宴となった。張高山副会長は中国の各方面を良く見て中日友好を進める様又軍の見学も希望するところはどんどん出す様すゝめられ、又政治的にもソ連に対する強い姿勢がひしひしと感ぜられた。日本の北方領土に対しても日本の要求は正しく、これに対しても支持する旨の話があった。宴会は中国流で色々な酒の乾盃が少なからず、その盃を先方に向けて飲み干し



たことを示すので、酒の飲めない小生には苦痛であり、俄に胃十二指腸潰瘍となって飲まない様に逃げてしまった。

5月22日午前 中国歴史博物館見学：天安門前方東側、人民大会堂に相對して、人民英雄記念碑の東側にあるなかなか立派な建物で、小中学校生徒が30名程のグループに分れて専属の説明員が説明し乍ら見学していた。その間を駆け足で説明を聞き、通訳の話聞き乍ら見学した。年代を追ってパノラマ風や、パネル・模型によってなかなか詳しく、天井の高い建物の3階まで極めて広範に展示してあり、その説明も既に太古の時代の原始共産制から、すべての事物を共産党的解釈で終始し、且つ過去の王朝政治をすべて悪と割り切っており王朝と王朝の切り換えの際の蜂起の事実のみを人民の力の盛り上りとして賞揚している様であった。説明にあたる人は若い女子服務員であったが、極めて良く記憶しており、通訳氏に聞けばこの職場で働いて北京大学の歴史科などへ入ることが出来るとのことであり、詳しい説明も納得出来たことであった。

午後は北京市美術硝子製品工場を見学したが、ここは女子工員が多い為か、工場の革命委員で福利管理係の崔女史はじめ、女性ばかりの管理者の説明を受けた。全工員610名中女工が60%とのことであり、昔の手工業で行われていたものを1956年に集めて一つの工場にしたものらしく、花瓶・植木鉢・額・獣類・灰皿・スタンド等、色のきれいな硝子の製品を造っていた。製品の60%は30余国に輸出し、東南アジアが多く、喜ばれているとのことであったが、私の感じではやゝ幼稚な感じであり買って帰る気はしなかった。工場の労働時間は実働8時間で昼食の他、午前・午后に15分宛休憩があるが、ガラスを作っている部屋はガスバーナーが多く、室温は33℃に達し、火のない室で27℃位、勿論冷風による換気も行われているが夏は大変らしく、ジュースなどを出すが、気分が悪くなると所属事務室で休息し、更に休養室もあるとのことであった。給与は古参工員で月50元、若い人で月30元、高温手当月8元(8000円、4800円1280円)。医療費は本人全額、家族半額負担、子供は生後2月～3才まで託児所、4才～学童までは附属幼稚園あり、託児所は朝～夕まで月9元、月～金まで宿泊で月12元(1440円、1920円)との

こと。なお現在の中国では工場・学校には必ず民兵が組織され、軍隊に準ずる様になって軍事訓練も行われているが、この工場にも民兵大隊があり、隊長は男子、副大長男1・女2名がいるとのことであった。中国の軍事思想・防衛構想は外敵に対し積極侵攻は絶対に行わない。敵国が侵略して来れば国内で迎撃し、勝手知ったる内懐へさそい込んでたたくという考えに立っており、歴史上でも中国が他国へ侵攻したことは数える程しか見られない古来からの戦法に起因し、更にソ連からの攻撃を念頭において、国民全体の気持を引き締める為にも民兵組織を充実させているものと思われる。殊にこの組織は文化大革命以後に規模を大きくし、最近の報道によれば文革派のバックの力として、勢力をのばす為、又軍に對抗する為にも育成されて来た様な感を受けるが、今度の毛死後の江青事件によって、これからは大きな発展はなくなるのではなからうか。

民兵の射撃訓練については南京の項で見学記のせることにする。

同日夜は渡江偵察記という、国共内戦末期、揚子江渡江偵察により共産軍大勝利になった映画を見たが、戦時中の日本の戦意昂揚映画と全く同じで、国民の意識・思想を統一する為には、この様な大衆芸能の持つ力は極めて大きいと思われ、まだTV受像機の一般に普及していない現中国においては殊に大きな力を発揮することだろうと感ぜられた。

5月23日(日曜)万里の長城・明十三陵見学：0810出発、車で1時間程で平地から山岳地に移り、居庸関を通り、更に30分位で八達嶺に到着した。沿道の平地には麦が多く、その麦は丈が低く1本の茎につく穂も少ない様だが、何しろ広い面積であるから、収量はかなりあるのであろう。山に入ると灌木などで、高い木は全く生えていないし、赤土で、水分と湿気のない為木が育たないのではなからうか。長城は折柄日曜日で観光バスも入ってなかなかの賑わいであった。長城そのものは石造りで基礎6.5米、上部通路5.4米あり、ところどころに望楼あり、想像以上に急勾配であり、山の頂上附近にあるので、人馬・弓矢の攻撃では攻め落すことは全くむづかしからうと思われ、2000年も前に5000斤にわたる壮大なものを造営した努力と精力に頭を下げる思いであった。次いで明の



十三陵を見学したが、明時代の13名の皇帝の陵墓で、夫々が大きな規模のものばかりで山裾に点在しており、こんな墓を造ったらその息子は大変な出費だと思ったらさに非ず、すべて生存中に造営し、死んだら財宝と共に地下の穴へ入り、入口は厚さ20cm程の大理石の扉で閉じ、花崗岩の太い棒を突支棒にしてあったという。この十三陵のうち定陵というのを見学したが、陵の地下は1959年に発見された由、それまで土で被われてわからず、又扉を開くのが甚だ困難であった為最近まで完璧な状態で保存されたらしい。内部は約300坪以上、天井の高さも6~7米に達し、当時の人民を酷使し、65万人を使役したという、その様なことを教える為の図表を掲げ、一般の参観者(博物館として一般公開している。)に数多く示してあった。この十三陵の全体の谷の入口のところには広い道路の両側に、大理石の文武百官の像があり、更に入口に近い方には動物の像が多数あり、中には象・らくだなども見られ、当時、四川・雲南・安南方面にはその様な動物がいて、それを模して作ったという話であった。又この近くには最近十三陵ダムが出来、北京市の飲料水などに用いられるという近代的なものも作られていたが、何はともあれ、だだっ広いことこの上なく、日本の狭さ・せち辛さを痛切に感じたことであった。

5月24日、五七幹部学校・清華大学見学：

五七幹部学校とは1968年5月7日毛主席指示に従い、10月設立、反革命修正主義の台頭の中で、幹部は労働に従事しなければならないという毛主席の教えに従って、各級幹部に対し6ヶ月の再教育をする学校で現在250名の老若男女が寄宿生活を行っていた。設立当時は全くの荒地だった所で学生が家を建て、開墾し、現在は展示室・居住区・医務室など殆ど完成し、野菜畑・果樹園など自給自足して生活し、午前、夜などに教育・討論などを行っている。小生自身の観察からすれば、これは党・政府の宣伝機関の一つで、ここで半年教育して、各職場に帰し、党・政府の方針を拡大伝達する為に用いられているのではないかと、又設立時には劉少奇失脚などの頃で、反対論を押える為に利用したのではないかと思われた。

午後は清華大学を見学したが、ここは理工科系の大学で、学生10000人、教師3000人、職員6000人おり、大学所属の工場と職場が25もあるという。

この大学は1911年の設立であるが、もともと米國が清國より得た賠償金を資金としたものであるらしいが、現在では米帝國主義の産物と表現していた。

解放前は学生が2700名程いたが、解放後はそれらの者はすべて国外に逃れたという。現在学生は高校卒で1年以上全国に散って労働に従事し、その実践的労働者の中から選ばれる。9割は労働者・農民・解放軍兵士からの者であり、教育も象牙の塔でなく、実習中に工場で働き、農場や兵營にも行くという、卒業生も昔は大都市にのみ残ったが、今は祖国の必要とする所へ、たとえ辺境の地にでも赴任するという結構な話であった。学内の工場を見たが、専門外の小生には良くわからないがどうも大して高度最新のものとも思われなかった。

図書館ではいかにも学究的で上品な館長に案内されたが、学生は計算尺などを用い電卓は認められなかった。書庫には日本の書籍・雑誌も意外に多く認められた。工場にも研究室にも、中国製だということを強調する機械が多かったが、丁度戦時中の吾が國の如く、やはり背伸びしている傾向があるようであった。

この大学はまた文科系の北京大学と共に大学報という壁新聞の盛んなところで、或る建物の前で案外広い場所に竹で編んだ様な掲示板があり、そこに、新聞紙3枚大位の紙に赤黒の字で色々書いてあり、内容はわからないが、何れにしても学内の革命委員会のメンバーが書くのであろうし、主張の違いはあっても鄧小平批判が多く、その弁護は見られず、言論の自由は勿論ないと思われる。殊にこの大学の革命委員会主任は江青女史らしいということであるから尚更批鄧の方向が強いのかも知れない。

5月25日 北京市児童病院見学：

市内のどの辺かはわからないが、中心に近い区域内の4階建の病院に案内された。建物は約20年前に出来たらしく、やゝ薄汚かった。診療各科の他に漢方、伝染病科・鍼灸科もあり、14才以下の患児で、病床600、外来毎日2000名に対し、医師200名、職員900名、看護婦400名、技術員70名、工作員70名という。医師200名というのは勿論漢方医も鍼灸医も入るわけであり、中国の医師資格がどういう範囲を示すかわからないが、はだしの医者が入っていないにしても、えらく多いと思っ

た。3階の小会議室にて仲々品の良い院長先生から概略の説明を受け、又例の如く革命委員会副主任より一くさりの話あり、その後院内の予定の場所を見学した。小児外科病棟では外科部長の張先生の案内で病棟を廻ったが、やはり人力に頼っている点が多い様で、保育器などはやゝお粗末なものが2台あるだけで、しかもすぐに使用出来るかどうか不明であった。又O<sub>2</sub>吸入・吸引などの設備も極めて少なく、日本の現状とは設備でかけ離れた感じである。但し張先生は先天性食道閉鎖症の手術成功第一例は1959年であったということで本邦初成功例が私の育った日大第一外科若林教授によって1960年であるから、中国のこの設備で成功させたことは大した努力であろう。又この病棟の最近の成功率は50%と言っていたが、若し本当だとすれば世界にも稀な位の高率成功であり驚くに値するものである。尚この病院では鎖肛が多いとのことであった。

手術場においてはヘルニアと水腎症の剔出術を針麻酔で行っていた。ここも設備はお粗末であるが麻酔は良く効いている様であった。針麻酔の他にはどんな方法が多いかわからないが、見たところでは気管内麻酔の機械などは見かけなかった。

X線科では吾が国では30年程前に用いられた様な機械が2台あるだけで、撮影されたフィルムを見ても少しかぶった様な出来で、スッキリしたコントラストのフィルムとはお世辞にも言えず、この様な分野に迄はまだ手が廻らないということだろう。下腿骨折の治療でも東洋医学ではギブスなど用いなくとも40日で治るとか、やゝ肩肘張った様な、私には強がりと言っている様にしか思えない説明があり、中医と西医との食い違いがある様に思われた。民度の上からしても骨折が形などよりも、ただ石灰化して癒着さえしていれば、必ずしも完全に元通りに治らなくとも良いという姿勢がありありと窺われた。

丁度院内移動中検査室の扉が開いており、入ろうと思ったが、予定見学場所に入っていない為、女子検査員らしい人に押し戻されてしまった。一寸見たところでは大した検査も出来ない様で、せいぜい生化学的なもの、細菌学的なものの一部位なもので、光電比色計もなく、凡そ近代的な検査とは言えない。そのことを知っているから、見学場所にも入れず、又入ろうとすると見せない様に

しているのであろうか。

中国医療のセクションでは鍼・灸治療の他、指圧・減圧治療・漢方処方などを行っている様であった。鍼は神経麻痺などの治療が多らしく、右上腕のものに、肩から長さ40cmもある針を刺すと挙上出来ない腕が上がったりするいかにもデモらしいデモンストレーションも見せられた。

見学終了後会議室で色々話があり質問もした。医師給は最高300元、最低50～60元、ナースは120～45元で3交代制とのこと。(1元=160円但し毛主席の給料は500元、他の最高は450元、院長は350元という。)医療費は外来1回10銭、入院1日50銭で、食費は40、30、20銭の3通りあり、他に薬代を支払うという。手術料はApe 8円で最高でも30円であるという。家族は半額で公社・会社で支払われ、高額な場合は会社で補助している由。

病院の経営はここでも総収入で全経費を賄うことは無理な様で、年に100万元を国から補助されるそうで、また中国医学会発表研究交流あり、研究会も行われるという。病院の今の目標は西医と中医との結合をめざしているという。しかし実際見学したところではどうもその間がシッカリ行っていないようで、政治家がいくら中西医結合を叫んでも、研究方法・発表方法・病名・治療などの定義からして全く統一されていない現状では俄に中西結合を指示しても、第一線の医者の間ではなかなか一致しないで疑心暗鬼の状態らしく、院長も奥歯に物のはさまった言い方で、やゝ困ったような顔付であった。吾が国においても鍼治療をする医師が少しずつ増えているが、鍼の点になるとどうも西洋医学的証明方法を用いず、単なる症状の緩解にしても、すぐに治った治ったという、そこに誤解を生じ、定義の不一致などから本場の中国においてさえ中西医の意見の充分な一致が見られないのではなかろうか。しかも中医が政府・党のあと押しがあって肩肘張って、背伸びする傾向が認められるから尚更であろう。

最後に吾々に意見を求められたので、私は率直にこの病院の医療機器が余りにも旧式であり、且つ不足しているが、もしこれらが近代化し、充足されたなら、本日拝見した技術と努力を以てすれば格段の進歩発展が得られ、世界的水準に達するのではなかろうかと述べたところ、院長と外科部

長は盛んに頷いておられた。考えてみれば現在の中国ではまだまだ初歩的な医療を全国津々浦々へ普及させるだけでも大変であり、これらを進めることを第一義とし、最新技術の先端に行くものや高級のものは後廻しとされているのもやむを得ないことかも知れない。その為この病院でもスタッフは年に何回か交代で巡回医療班を組織して、農村を廻り、医療工作・保健予防工作を施し、又各所ではだしの医者<sup>の</sup>教育もするという。また5年間に1年位は農村の病院へ交代するし、これには老年医も例外ではないという。そこに上からのやや強制的指導が感知されたことであった。

同日午後は幼稚園の見学が予定されていたが、急に取り止めとなった。準備が間に合わないとのことだが、丁度パキスタンのブット大統領の北京到着が報ぜられ、ホテルの外では早朝から小供達

が普段見られない華やかな色のスカートを着用し、造花を持って集まっていた。頭はない子供が自ら進んで大統領の歓迎に飛行場へ早朝から出るとは考えられないので、やはり何らかの指令があるのであろう。

午後のあいた時間は琉璃<sup>るりしん</sup>廠商店街へ案内してもらった。ここは古い時代のもや文書・掛軸・毛筆・墨・硯の商店、翡翠や陶磁器・骨董の店などがあり、中国では宝石などが今は価値が認められないので、翡翠などは日本に比べて相当安いようだった。唐三彩などはそっくりのものがあるが、これは模造品だそうで極めて安い様だが、持ち歩くのがやっかいなので購入を取り止めた。同行の人は石碑の拓本や、軸物・筆・墨などを買っており、安いので喜んでいたらようだった。

(つづく)

## 欧米視察第十五話

### 東ベルリンを行く

三 沢 剛 文

ニューヨーク、コロンビア大学医学部附属病院の門を出た私は、残るはシカゴコンラッド、ヒルトンホテルに於ける国際外科学会本部会長H E ターナー教授の講演会と晩餐会が終れば総てプライベートであり、サンフランシスコ・ロサンゼルス・ホノルル等美しい海と空とロマンが待っているだけと思うと居たゞまれず、ニューヨークのどまん中へとくり出した、が、そこにはヨーロッパで一人も見かけなかったもの、見ることの出来なかったもの、帽子を目深く歩道に腰を落とし、うずくまり、物を乞う姿の乞食である。欧州至る処公娼・私娼は種々な姿でヒトラーの丘の下で、ローマのアップピア街道、セヌのほとり、ノートルダム、といたるところでおめにかゝった。が、乞食三日やればなんとやら、之も職業と考えれば別に不思議はないが、日本を旅立ってから45日初めての出会いであり、世界最大の先進国アメリカはニューヨークのどまん中ブロードウェイ、世界経済・株式相場の大御所とはなんと皮肉なものか。極端な貧と富の経済の谷間のおちこぼれであろう。極端と

云えばベルリンの西と東の谷間の対象が眼に浮んで来る。日医理事の菊地病院長と二人、此処まで来たんだ行ってみないかと学会の谷間を一ぶく、誘われるまゝに、油で汚れも著しいボロ双発機で西ベルリンに到着した時は日も暮れ、三流ホテルに宿を取り朝早く観光バスに乗り込んだが昨夜の寝不足がたゞり、居眠りからさめた時には、雑誌等で想像していた通り、やっと自動車の通れる有針鉄線をはりめぐらしたコンクリート壁の前に停車、旅券の検査を受け東ドイツ側に来て待っている東独観光バスに乗りかえる処であった。西側の壁に接して東独側を覗き見る為の物見ヤグラの数人の御婦人をよそ眼に関門を通り東独に一歩ふみ込めば直ちにバスの中、それ以外の歩行は許されない、どっかと腰を下ろす。黒い髪に黒い瞳の女車掌さん実は東ベルリン大学の女子学生、社会学を専攻し将来は学校の先生を希望とのことだ、独乙人らしい身の丈1.55mの小柄でずんぐりして日本人の体軀に似て足は太く、顔は独乙人らしく顎が広く日やけしている様な、健康そのものゝ顔色



である。スウェーデンはストックホルム飛行場からパレスホテルに向う1.5時間の山を切り開いた岩山の道、唐松の林道を行くバスの乗客の全ての視線は、映画女優大草原の小さな家の女主人公キャロラインさんの様な青く澄んだ美しい眼と、ふくよかな笑みを終始たゞ長く美しい足を組み、車掌席に腰かけて煙草など吸うあかぬけた姿の女車掌さんとはあまりにも対照的である。ハリウッドの女優の八割が此の国の女性である美女の国では仕方ない。厳重な検査に合格すれば、いよいよ出発である。人々の緊張した眼差が車外に向けられる、何と云っても誰もが気づくことは西側では弾痕一つ見当たらないのに、わざとなしにか全々修理の跡もなく至る所銃砲弾による破壊と弾痕が生々しく戦後二十余年の今日までそのままに全々復興していない事である。市庁舎の破壊の跡のそのまま保存されているのは何の為か、世界一と云われる時計台も破壊されたまゝで外来者の注目を引く、明治神宮の参道の生垣の様に――曲りくねった砂利道を歩くこと千米、眼前遙かに開けた千数百米の石畳の参道とその入口左右に三米余の高さの大理石の柱の上に鉄帽をぬぎ片足膝まづき首をたれた実大の老ソ連兵の像が置かれ、参道の両側に種々な大理石の女神の像が立ち並び、明治神宮絵画館参道に似て其の正面に巨大なソ連の無名戦死者を祭る廟がある。勿論、独乙側で設置されたものであろう。西側ベルリンには弾痕一つ取り除かれ、この様な意味を含む記念物は見当たらない。有るは



ソ連無名戦士の廟の入口にあるソ連老兵の像

唯東側から西側に逃れる為小さな川を泳ぎ渡り岸辺にたどりついた時ソ連警備兵の銃弾に倒れた一人の青年の大理石の墓標だけで、四十七士の墓の線香の煙の如くに花束が絶えない。市街地の建物の所どころに赤い小さな三角の小旗をつないだ長い紐が張り巡らされている所が目につく。何かあるのかなと質問する、毎週青年達は一回この旗の下に集まり青年の修養の為の集会が行われるのだとの事である。乗客の一人が車掌さんに、貴女は東ベルリンの生活を如何に感じていますかと、愚かな質問をしたが直ちに「私は希望ある生活に満足している」と答えたがそのふくよかな胸元に動揺を感じていた様に思えた。ソ連兵士の功績を称う銅像はオーストリア、ウィーンのメインストリートの四ツ角にもウィーン一番乗りのソ連兵と題し、銃を右手に立ち膝をした銅像があるが、どんな反応を町行く人が示すのか暫時立ち止って見ていたことがある。戦後十数年それはもう誰一人立ち止まり振り返り見られない姿で、唯戦後最も早く有利な条件で講和条約を締結することの出来たオーストリアの遺物ではなからうか、そしてこの東ベルリンの市内に設けられた巨大なソ連戦死兵の廟も唯ソ連への何物かであり、観光の道具にしか今は過ぎないのではなからうか。世界中の多くのこの廟を訪れる観光客はどの様に感じ取っているのであろう。ミグ25問題、北海漁船拿捕事件に無関係とは全然思えない。



東ベルリン市内に設置されたソ連戦没者廟

## 甲斐路の雑想

佐々木太郎

## 石和あたり

ぶどうの里勝沼を過ぎて笛吹橋を右岸に渡って土手を南にしばらく下ると、青い御坂山系の上に直線的な富士が東南の空に今もひやかに美しい。やがて道はY字形に別れる。土手を右に下ると石和の町に這入る。南に真っ直ぐ下るとすぐ鶉飼橋の袂に出る。古いお堂があった、謡曲「鶉飼」のゆかりの地だという。笛吹橋から鶉飼橋あたりの土手は終戦頃まで桜並木が美しかったが、今は味気ない。深沢七郎の小説「笛吹川」に出てくる「ぎっちゃんかご」と云う建て方の家があったのもこの辺りであろう。「ぎっちゃんかご」と云うのは、土手の外側斜面に造られた家で、土手の上から直接家の中に這入れる。従って床の下には、三角形の空間が出来、普通物置になっているが柱だけが目立ってかごの様に見える、かごみたいなあばら家である。洪水で土手が切れて水が村落の方に流れ込んで、水かさが増しても余程の事がなにかぎり流されたり、床上浸水がない。洪水に悩まされて生きて来た貧乏人の生活の知恵でもあろうか。昭和初期までこんな家が見られたものである。

昔からこの国は到る所洪水に悩まされて来た。結局治水に成功した武田信玄がこの国の強力な主となった。明治末から昭和初期にかけて時の政府は内務省の仕事として山林の伐採を禁じ、土手の大々の整備を行ったため、近年この国では大水害は殆ど聞かない。笛吹川は大菩薩峠、甲武信岳等の山々から流れ出る日川・重川等の支流が石和の上流「差し出の磯」附近で合流し甲府盆地の東北角にある石和に流れ下るので、台風や大雨の時は石和一帯を洪水に悩まし続けた。だから石和の町は河原であり、御影石の細分された美しい砂利の上が出来上がった町である。

武田家発祥の地は信玄の父信虎が武田家をついだ少年期の館近くで、石和町の北方の大蔵経寺山山麓を通る青梅街道沿いの正徳寺附近である。その近くに昔からの鉱泉が一軒あって沸し湯で営業していた。戦後間もなく観光業者が石和の町にボーリングを行って、田圃の真中で太い温泉脈にあ

たり、戦後で入浴も不自由だったこともあって近郷近在から善男善女がおしかけ屋間から田圃の真中で混浴となったので当時の週刊誌が写真入りでさわぎ立てたものである。その後町内あちこちに湧出する温泉に高度経済成長が加わってホテル・旅館等もろもろのサービス業が開花して今日に到っている。お医者さんも亦温泉病院を次々と建築し、リハビリテーションにはげんでいる。

幕末から明治初期の石和には石和代官が置かれ石和の獄舎があった。黒駒の勝蔵親分も最後は官軍に投じていたが旧悪露見に及んでこゝで獄死した。一説に獄内で毒殺されたとも云う。

町の中央を平等川が南に流れ甲州街道と十字交差している地点に甲運橋がある。その袂に甲運亭と云う昔からの料理屋がある、鰻料理がうまかった処だが今はどうであろう。十五・六才からあばれ者であった四郎は、甲府の豊田耳鼻咽喉科医院の入院室から無断脱出して今夜は中耳炎のいたみをこらえて、テキ屋との和解に応じて甲運亭に上っていた。和解は成立した。したゝかに酔った。ふとかわやに立って長い廊下を廻った時、さっと殺気を感じて身をかかわしたが酔いのせいか何時もより遅かった。「ピンッ」といたい耳の首根を木刀で打たれた。「野郎」喧嘩なれている彼は、無意識の内に相手を庭石に投げ飛ばし、もう一人の擧丸をけ上げてさっと暗やみに消えた。

酒折りの屋台に飛び込んで来た時はさすがに頑健な不死身といわれた彼の肉体も、発熱と痛みと疲労であえいでいた。「おやじ、豊田さん迄つれていってくれ」と云って倒れた。四郎は昭和初期から甲州で次第に売り出し、近頃では東京・横浜の親分衆にも売れて来ていた。昔気質の渡世人である。素人衆・老人・女子供には、やさしいお兄さんだったが、強悪な者には向って行く。此の喧嘩はどこらあたりで誰が仲裁に入るかを読んでから、さっと素っ裸になり、禪一つでぶっつかって行った。

普段禪一つに洗いざらしの着物を着、袴をはい

ていた。中耳炎は間もなく快男子の生命を奪ってしまった、二十九才だった。流れと云うか彼の甥は東京で某組の幹部であり、も一人の甥はボクシングのプロである。

笛吹川の上流に石和の洪水防止の為、武田信玄が造ったと云われている松の大木の繁った公園が川の右岸を守っている、万力林と云う。中央線が笛吹川を渡るとすぐ右手北方に続く林で、甲州財閥の元祖 初代根津嘉一郎の銅像がみられたが戦争でなくなった。財閥と云えば石和銀行(今はない)の頭取だった小林中は、根津直系として日本

経済界の大御所的存在だ、小佐野賢治の帝国ホテル買い占め問題の時、小林の出馬でさすがの小佐野も妥協せざるを得なかったことは耳に新しい。

万力林の更に上流が「差し出の磯」である。

塩の山 差し出の磯に鳴く千鳥

君がみ代をば 八千代とぞ鳴く

と古今和歌集にある。山裾が笛吹川に突出した岬のような処で断崖の下は清流が流れ、東から南に塩山・勝沼・八代・曾根と続いている丘陵の裾を笛吹川が白く帯の様に流れ、東南の空に顔を出している富士は石和で見た富士より稍温和である。

## 東北の紅葉をたづねて

ドライブ会 近 藤 友 好

大体旅行記と云うものは、それが有名な所であればある程、記事としてはまことにつまらないものになる、特に文才のない私などは事実を羅列するにすぎなくなる。今回の吾妻磐梯スカイラインに続く蔵王エコーラインに紅葉をたづねる旅の記事もその最たるものなので、風景については、カラー写真にまかせざるをえないが本会報にはカラー印刷おことわりなので残念乍ら、いつの日か写真展でもお目にかけざるをえないが、土砂降りの雨の翌日であったため、その鮮烈さは、霊台方寸のカメラに納め、皆様の御想像におまかせするしかない。ところでこの旅行の「きっかけ」と準備と走って見なければ分らない途中の事柄について、いさゝか紙面をうづめてお許し願いたい。西多摩医師会ドライブ会では秋の旅行(ドライブ)の行先をどこにしようかと考えていた時、今月の参加者中、最年長である石森先生から一つの因縁のため是非一度蔵王に行ってみたいとの希望があるとので一応目的地は決まった。日程の上でも10月9日(土)10日(日)11日(祭日)と2日半日の日数は旅程の上でも左程無理ではなからうとの事で準備にとりかゝったのが本年4月頃であった。早速蔵王周辺にくわしい画家で山岳会々員でもある高橋晋作氏(川端龍子門下、山彦山岳会会員)に意見を聞き、更にコースの選定を依頼し、凡そのプランが出来たのと川崎先生等との意見が一致し、旅館等の交渉に入った。私は岳温泉の方を担当す

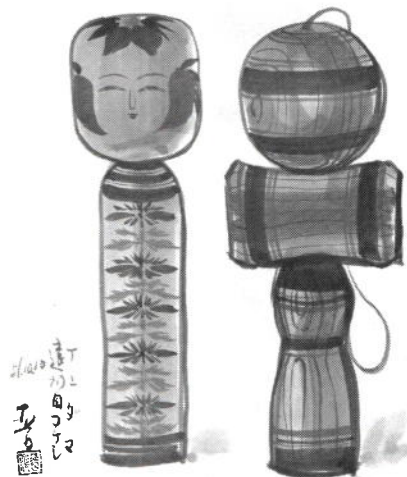
る事になり、にわか勉強のためガイドブックを買って来た。この際注意しなければならない事は最新の出版のものでないと新しい道路や料金・電話番号・駐車場の有無の状況等が全くあてにならない事だ。岳温泉・安達館というのに見当をつけた駐車場の大きいのがありそうなので直接電話で交渉に及んだ、ダミ声の60才すぎと思われるおぼさんが応待に出た。一泊7000円位で部屋は必ず2つ以上を必要とし人員は決定次第知らせるから必ず確保してほしい。前納金は不要、と云う事で電話を切ったが、何となく不安だったので数週後再び電話を入れた、矢張り先日のおぼさんのダミ声だった、まあ仕方がないだろう、床の抜けそうな壁はしみだらけの旅館を想像し、後日一同から文句を云われるのを覚悟の上で契約した。10月9日豪雨の中をようやく到着した安達館は仲々立派なものだったし駐車場も広すぎる位だった。岳温泉への入口が分りにくかった、要注意。

旅館は大きすぎて食事集るにも風呂に行くにもゲンナリする位歩かなければならなかった点はやゝ欠点と云えば欠点だったが大浴場は仲々すばらしく湯量も豊富で肌ビリビリと浸みた、これをがまんし乍ら見回すと苔の密生した石が適当に配置され、原形の分らない位に古びた大きな石臼に湯の落ちる音が良かった。夕食は大広間で一同そろって盃をかたむけ、民謡好きな横浜からの一青年が飛び込んで来て美声を聞かせてくれるハブ



ニングもあった。翌10日午前9時30分にチェックアウト、今日が初日と云う二本松の菊人形展を見物する事になった。開花はやゝ不充分乍ら、平将門をテーマにしたNHKのドラマをテーマとしてまとめてあり、会場には二本松菓子組合が出店しており昔なつかしい黒玉飴・茶玉飴・タン切り飴・五色豆等があり、銘菓「ゆべし」がおいしかった。こゝで一大失策があった、この展覧会場には駐車場があちこちにあり馴れない高橋先生の指示に従って駐車したためお互いの待ち合せがうまく行かず先発の人達が待ちぼうけを食わされた。こうした時には一つしかない入口で待つのがいいと思った。又少しゆっくりしすぎたため後の行程がやゝきつくなった、フューエルゲージが $\frac{1}{2}$ になったので満タンにする。吾妻磐梯スカイライン入口手前で早目の昼食をとる。之は大成功でそれから先のドライブインは少なくとも混雑していた。スカイライン紅葉は見事乍ら車はベルトコンベアーに乗った如くで、ゆっくり見たい所には停車出来ず、つまらない所もさっさと走るわけには行かなかった。シーズン中は何処の名所も仕方のない事だ、途中の浮士平は車の洪水で駐車場は車があふれていた。とても浮士平とは思われず、現代のモータリゼーション社会がそのまま地獄に掃き落された観がある。又全山紅葉の写真は部分的に陽が当るので仲々うまく行かない偏光フィルターを使用するのが良く陽の当るのを待つ努力も必要だ。白石I.Cを出ていよいよ蔵王エコーラインにかゝったが大黒天をすぎて山頂付近で深い「ガス」と日没が加わって視界は20~30米、対向車もヘッドライトしか見えない、それも突然現われるので時速は10~15程で目を凝らしての運転、遂にほんの少しだが道を間違えた。蔵王温泉境(昔は高湯と云ったそうだ)の手配は専ら杉本先生の担当でJAFを通じて早くから申し込んであった松金館には午後8時頃着いた。この街は道巾もせまく迷路の様で駐車場にも困ったが宿は仲々古めかしくて落ち着く。風呂場の内部は全て厚手の板張り、湯の花が浸みこんでどっしりした感じで湯量は全く豊富、泉質は岳温泉と同じらしく肌にビリビリしみる。夕食後蔵王おろしの吹きすさぶ温泉街のみやげ物店に参々伍々出かけた。さすがに「こけしの古里」だけあって銘入りの作品が保存されている洗い店が多く蒐集慾をそゝられる者も

あった様だ。「安達良こけし」の特徴は、



の如きものだとの事。巨大な拳玉を買う。夜は皆さすがに早く、すゝり泣く様な蔵王おろしを聞き乍ら床についた。11日は9時20分温泉郷を出発再びエコーラインに向う。強風が吹き突然にみぞれが頬をうつとても痛い、かと思うとからりと晴れて来ると云う急変のくり返しの天候、山はこわい。しかし乍ら紅葉はこゝも素晴らしい。一路I.Cを目指して下山し、安達良サービスエリアで落ち合う事として高速道路に入る。強い偏西風にハンドルを取られ乍ら注意して走る。この東北自動車道はイメージの上では山間の道路と思いがちだが、安外平地の所がなく時々切り通しがあるので高速と強風のため空気抵抗は思ったより強く、横風には特に注意しないと危険だ。今迄は高速道路の吹き流しなどはあまり気にしなかったが、こゝではそうは行かない、御用心御用心。

相変わらずつまらない記事になってしまった、何か参考になれば甚だ幸いです。

## 私は棒に負けた

米谷豊光

私がまだ医師としてかけだしの頃ののがいい思い出である。

ある年の十二月九日、東北地方の雪の降った寒い夜であった。内科の研究会が終って家路に急いでいた。私の家の近くの溝に一匹の犬が落ちて、びしょりとなって溝から這い上がろうとしては又すべって、仲々溝から上がれない。もう一匹の犬がその回りをうろうろし乍ら吠えていた。まるで救いをもとめ、哀願しているかのようであった。

溝に落ちた犬をたすけようと思って一本の棒をさがし、溝からだそうとしたら、犬は私が突然やって来たのと棒にびっくりして益々遠ざかり、私は懸念に呼び返すべく口をならし乍ら棒をさしのべた。しかしそれとは反対に犬は溝から遠ざかりせきの方へ流れて行った。犬はそこにあった丸太にしがみつきのろうとしたが、降った雪ですべりうけつけない。とうとう水の中で泳ぎはじめ、せきのふちにたどりついてあがり消えていった。勿論吠え叫んでいた犬も一緒にいなくなった。

実はこの日、自分の受け持ちの一人の患者が死んでやるせない気持ちだった。丁度その頃、私は五病棟・八病棟に重症患者をかゝえていた。死ん

だのは五病棟の患者さんだった。早朝からわるいといわれて呼ばれ、出勤時には脈がほとんどふれない。心音ははっきりときくとれる。もう駄目かと思ったが、もう一度元気にしたいと思って処置を指示簿に書いて依頼して八病棟へ行った。そのときはもう家族の人が帰る支度を一生懸命している、風呂敷づつみをひろげつかっている日用品をしまっている。家族の人はあきらめている。

点滴静注・輸血等指示して行った。約2時間後呼ばれた時は既に死亡していた。看護婦詰所には輸血の血液も、注射液もかなりのこっていた。患者は既に静注すら不能の状態のようであった、どうしてもたすからない患者だったかもしれないが何か色々と反省させられる気持ちであった。

家への帰りみち一本の棒を立き叫ぶ犬にさしのべた事が、犬はおどろいて却って自分で泳ぎたすかった事を考えると、最後の最後まで一本の棒を一本の注射にかえて温かく差しのべようと心の奥に大切に誓ったものであった。

年末となるといつもこの病院におきた小さな出来事を思い出し、犬にまけ棒にまけた気持ちで、年賀状をかいている。

## 東京都医師会役員と西多摩 医師会役員との懇親会



高水会長は51年度初頭から此の計画を持っておられたようですが、西多摩の緑・清流・淨い空気を都医役員に愛でていただき、都医師会傘下として、西多摩は特異な地域であることを理解していただく目的があったと思います。

10月6日(土)に催されましたが、都医師会側からは渡辺会長、鳥羽・松井両副会長をはじめとし理事・監事・代議員会議長その総勢18名が来西され、西多摩医師会側から三役・理事・監事・議長等が出席し盛会でありました。

瀬戸岡副会長が計画し、瀬戸岡副会長の先導で

小沢酒造（沢の井）を見学、利き酒を賞味し次に玉堂記念館で玉堂画伯の作品を観賞し更に清流多摩の河畔を散歩し、折からの紅葉を楽しみながら勝仙閣に到着しました。都内よりも気温が低く、寒い寒いともらされながら茶をすする先生もおられたが、左程お疲れの様子ではなかった。

小憩の後、4時30分 大広間に集合し、山田副会長の司会で懇親の宴が始まりました。高水会長の挨拶、渡辺会長の挨拶があり、長沢代議員会議長の音頭で乾杯し懇親を深めました。宴の半ば、元青梅市長石川要三氏の代理として、山崎青梅市長から、都医師会と西多摩医師会に対する挨拶がありました。（総務部 福島）



## 三多摩医師懇親会

日時 51年11月13日（土）午後4時  
場所 オリビック立川ビル7階ホール

三多摩医師懇親会は各医師会の正副会長その他約90名が参加し、北多摩医師会 広野理事の司会で開催されました。時間を1時間も延ばす程の盛会でありました。武蔵野医師会々員は杉山会長をはじめ全員不参加でしたが、これは当日、武蔵野医師会10周年記念の祝賀会が催されたためであります。

西多摩医師会からの参加者は高水会長・山田副会長・瀬戸岡副会長・宮川理事・事務局員で、福島理事は武蔵野医師会10周年記念会に出席したため遅刻しました。

## 武蔵野医師会10周年記念

11月13日（土）午後4時30分、武蔵野医師会講堂で開催されましたが、当日は三多摩医師懇親会も催されておりましたので、各医師会長は欠席し副会長や理事が代理で出席しておりました。

西多摩医師会からは福島理事が出席し山崎庶務担当理事に祝辞を述べました。

（総務部 福島）

## 理 事 会（S. 51年10月20日）

地区医師会長協議会報告（山田副会長）

1. 予防接種法の一部改正等と予防接種事業の取り扱いについて

問診表に関しては、現在厚生省に於て検討中のものを近く提示される模様。

三者協議会小委員会で、本年のインフルエンザの対象中には高校生は入っていない。都医師会として都衛生局に、高校生及び事業所員の接種に関しては問い合わせる。

2. 休日診療に係る東京眼科医会の協力について  
 明年1月より眼・耳鼻科の専門医を必要とする休日救急医療の一環として、初療施設4、収容施設1を以て実施する予定であるが、本年10月より眼科のみ実施した。東京・東邦・杏林の三大学で救急車による患者のみ扱ったが、3日14名・10日10名・11日10名で、入院は1名もなかった。都内では、東部・南部・北部及び三多摩に各1ヶ所初療施設があり、之等は都消防庁・都衛生局に電話で照会の事。

3. 学術講演会について

51・11・11 於朝日講堂 演題「高血圧をめぐる最近の話題」

4. S.51年度研修事業 「専門課程」及び「専攻課程」の実施について

東京都癌検診センター研修事業受講案内

専門課程 51・11・15 — 52・2・17

専攻課程 52・1・7 — 52・2・17

5. 社会保険と公費負担医療の請求一本化について



医療機関番号は従来のものを使用する。之は社保のレセプト提出日を国保と同じ様に法令通りの毎月10日にさせる為で、其の為にも月遅れで請求する事は止めて貰いたい。公費負担の明細書は従来通り無償配布する。㊦は其の摘要欄右下部に㊦の印を押す。国保も同様。此の印は無償配布する。

6. 公害認定患者の診療の取り扱いと請求方法についてパンフレットを配布する。

7. 都社会福祉協議会に各地区医師会は加入して欲しい。

東京善意銀行に加入する様、各会員にすすめたい。

#### ○社保担当理事連絡会報告(速水)

其の後交渉が煮つまり、決定した事を主として述べる。医療機関番号は従来のものを使う。保険者番号はコード化したものを使うが、判らないものは従来のものを3・4ヶ月の間は使用しても良い。㊦㊦の番号も国保並みに黒ワク内のみで良い事になった。請求書の書き方が決まった。要するに黒ワク内のみ書けば良い。従って社保等単独の場合は総計は件数のみとなった。但し全部書いた方が良いと思えば黒ワク外迄書いても良い。公費負担併用分は、㊦㊦は合せて件数と点数のみ書く。結核併用分は其の分だけ点数を書く、其の場合は社保併用の全点数は抜ける事になるが、之は間違いなく支払うから心配はいらないとの事、もし心配ならば黒ワク外の社保併用の欄に書いても良い。

編てつ方法が決まった。請求書・決定通知書・生保、社保単独(政管・日雇・組合・共済・自衛官)、社保公費併用、公費単独と色分けになった。公費と公費の併用の場合、生保と結核では生保が第一公費となった。㊦と㊦とでは支払方法が異なる為予め別にする目安として、㊦は適用欄右下に㊦の印を押す事になった。之は国保も国鉄も同じである。診療録・レセプト用紙(社保単独)は旧いのも当分の間、取り繕って使用しても良い。

#### ○都医理事との懇親会について(瀬戸岡)

理事全員を招待する事になった。11月2日於勝仙閣で、其の前に沢井酒造・玉堂美術館を見学する。当方役員も多数参加して貰いたい。

#### ○福島先生遊説について(福島)

10月29日 p.m.3:30に当会館で行われる。会員に通知するが、役員は必ず出席して貰いたい。

#### ○非常勤公務員の通勤時災害保障について

(福島)

条令の新しい青梅市によると、医療保障・休業保障・遺族一時金・年金とある。年金は1~7級の障害が残った場合、7~14級と死亡時は一時金となっている。之は予防接種に関するもので、学校医の場合は別で、文部省令で決められている。

(会長)之は大切な事で、其の額を確認し、詳しく会報に載せて貰いたい。

(会長)箱崎理事が健康勝れず其の役職を休みたいとの事で、其の為国保連絡員を代理として来年3月迄は平林理事にお願いする。(承認)

#### ○税務対策について(百瀬)

中間報告(中林)49年4月より2年5ヶ月に税務署員との会合は13回行われた。

医師会側の出席者は高水会長以下7名の役員で其の費用は各々のポケットマネーで支出している。

青色申告会に関しては、A会員126名中青色会員が58名で1ヶ月600円会費で内300円は西多摩青色申告会に出し、残りの300円で会を運営しているが、之は前記会合の費用には使用していない。

(百瀬)去年は6・7名調査を受け、今年は担当官が新任の為か、既に11名が終わりまだ5・6名はやりたい様子というのが現状である。

税務対策としては、申告の指導を主体とするものと、被害を受けた場合の救済があると思う。他の地区では会員が相当の支出をして活動している処がある様だ。相互扶助の為一部役員に支出を強いる事なく会費を増額して活動し易くしたい。長年心くばりして戴いている会長の実績を無駄にしたい。皆さんの御意考により今後の方針を決めたい。

○今回の調査を受けたのは、白・青半々だ。現在青色会員のみ会費を出しているが、恩恵は同じであるから皆一様に出す可きで、勤務医以外は会

費の他に渉外費を均等に出す可きだ。歯科医は一樣に現金収入が多いから団結が固い様だ、医科は科により現金収入の差が多いので其の点も考慮に入れる可きだとの意見続き、税務対策は積極的にすゝめる事になった。

は私共一般医は眼を開かれた思いであった。

(吉野 住雄)

## 医師会日誌

○三多摩懇親会 51・11・13

○福祉部報告(川崎)

家族・従業員慰安旅行 東宝名人会

11月23日(休) 定員50名で計画した。入場料1600円、現地集合、負担金については更に検討する。

○モーターリスト協会が三社(協同・大協・モビル)とℓ113円(公定価125円)で契約した。希望者は所定の申し込み用紙に記入して提出されたい。用紙は医師会事務所に置く。クレジットカード式で全国で使用出来る。

(会長) 学術講演会は朝日講堂では遠いので、三多摩の為少しでも近くと新宿で行う事になった。折角の事なので多数出席して貰いたい。

(以上 速水 記)

### 学術講演会

#### 一般医に必要な眼科、耳鼻科の知識

10月の学術講演会は眼科の後藤伸先生・福生病院耳鼻科の山田登先生を講師にお願いして、21日医師会館で開催された。後藤先生は内科・小児科医も関係することの多い眼科疾患、備えておいて便利な点眼薬・洗眼薬などを中心に話され、また山田先生は、めまい・耳鳴を主題に講演された。講演後の質疑は大変活発で司会者が眼を回す程。永年の臨床経験に基づいたお話だけに教科書とは一味も二味も違っており、随所に耳を聳てさせるに十分なトピックが聞かれ、たとえば、学童が勉強に根気がないと訴えるときは、稀ではあるが遠視が原因になっていることもある、などのお話に

会員数 208名 A会員 130名  
B会員 78名

### 会議

11月 4日 各部長会  
12日 会報委員会  
16日 地域医療対策委員会  
17日 定款検討委員会  
24日 理事会(予定)  
25日 会館環境整備委員会  
30日 学校医会

### 講演会・その他

11月 7日 整備会  
11日 学術研究会  
17日 学術講演会  
26日 阿伎留病院カンファレンス

### 役員出張

11月 11日 五日市保健所定例会  
13日 三多摩医師懇親会(北多摩)  
17日 保健所連絡会  
19日 三多摩庶務連絡会  
" 地区会長会

### 会員通知

○学術講演会  
○告示(日医予備代議員補欠選挙)  
○社保・公費負担の一本化に伴う各種用紙の改訂について  
○社保と公費の請求一本化の実施について  
○阿伎留病院カンファレンス  
○保険者コード一覧表  
○家族・従業員慰安会のご案内  
○公害認定患者の取扱について  
○公害医療機関でない病院・診療所における公

- 害認定患者の診療の取扱について
- 公害医療手帳所持者の取扱について
- 福島茂夫氏の全国遊説計画について
- 学術講演会のお知らせ
- 会報 50号
- 特集「救急医療」
- ガソリン割引購入のお知らせ
- 11月10日(水)の業務について
- 保健婦・看護婦の研修講座の実施について

## 第69回

## 西多摩医師会ゴルフ大会

昭和51年10月24日(日)立川国際カントリークラブにおいて、雨にぬれながらおこなわれた。雨天のため欠席者が多く、10名の参加であったが、雨や霧を吹きとばすようなファイトで、全参加者が健闘した。結果は次の通りであった。

今回より出席の予定者で、都合で出席出来なくなった部員より、会費だけは納めてもらうことが再確認された。(江本)

## 昭和52年新年会予告

本年もいよいよ残り少なくなりました。皆様には益々ご健康でご精励のことゝ存じます。来るべき新しい年の始めに例年本会で催しております同好医会(新年会)が次のような要領で催されることに決まりました。料理も精々おいしいものを用意いたします。ご家族・従業員共々多数で来会あらんことを……。(詳細は後報)

## 次 第

日 時 昭和52年1月22日(土)  
p.m. 6:00~9:00  
会 場 青梅駅前 高砂 飯店  
会 費 ￥3,000(一医療機関につき)

何人お出になっても結構です。

氏名	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット	ランク	新ハンデ
奥出	50	47	97	29	68	優勝	
宮地	39	43	82	9	73	2	BG8
波田野	50	47	97	24	73	3	23
堤	49	53	102	28	74	4	
足立	45	47	92	18	74	5	
内山	48	45	93	17	76	6	
江本	46	43	89	10	79	7	
川崎	53	61	114	33	81	8	
藤田	41	49	90	8	82	9	B B
鈴木	54	60	114	24	90	10	

## 年末・年始の事務室のお休みについて

本会事務所は、下記の通り休務いたしますのでご了承下さい。

12月29日(水)~1月5日(水)まで

## 予 告

ヨーロッパ・中国旅行写真展

大河原 周・加藤 出

昭和52年1月9日(月)~15日(土)

a.m. 10:00 — p.m. 5:00

西多摩医師会講堂



## ひとつとでない話

M. U.

### (1)

正月が近づくと、ひとつとでなく不安な経験を思い出す。ことはある年の歌会始めに入選した和歌のことであった。その翌日、新聞の地方版には入選者の晴れがましい写真と感動的な私生活の一部まで報道されたのであったが、後になって、その作品が盗作であったと言うのである。入選者は勿論盗作を否定したが、原作者が名のり出た以上、我々読者の目には言いわけの余地のない事実として映った。

しかし私は今でも、話題の人物があくまでも主張するように盗作ではないだろうと思っている。彼の作品が盗作であるとする根拠は一体どこにあるのだろうか。原作者がいたから、たゞそれだけの理由で彼を盗作者扱いしてよいものだろうか。

私はトンボ鉛筆を持っている。あなたも同じ鉛筆を持っています。私のものはあなたのものでなく、またあなたのものも私のものではありません。しかし店頭には同じ色の同じマークのトンボ鉛筆が何万本も同時に作り出され、売り出されているのです。使い古しのちびた鉛筆と新品との取りちがえならあろう筈はないのですが、意図せずあなたのものが私のものとなる機会は大いにありうることです。目に見える物ですらそうです。

ましてや目に見えない精神産物となると、ことはもっと深刻です。毎日、テレビ・ラジオ・新聞などマスコミを介して、同じ内容の報道を同時に何万人もの人が聞き、記憶として頭の中に組み入れています。大量生産された全く同じ鉛筆を、私達が自分だけのものと錯覚して所有するのと同様のメカニズムが、質の違いこそあれ、そこには存在しています。私達は知らずのうちに、たやすく手にはいる印刷物やマスコミを通して精神界まで画一化されているのかも知れません。思想や思考が鋳型化された社会を考えただけで慄然たる思いになります。カントルの言う思考の自由性は数学の世界だけで現代社会では望みうべくもありません。多分あなたの考えは私の考えになっているでしょう。あの常道的な繰り返し、執拗なマスコミ

攻勢の前には、私の精神存在は、あたかも木枯らしに吹きさらされながら散りおくれた一枚の枯葉にすぎないのです。

小説ならまだしも、五七五みそひともじに表現される歌となれば語彙も少ないだけに内容も必然的に限られてまいります。つぎに作意性の有無が問題です。作者が意図して模倣したかどうかということ。私がかつとも強調したかったのはそのことです。彼奴は臆面もなく頭から否定するが、本当は彼奴自身が一番よく知っている筈だと一般的には考えますが、それがまた全くあてにならないものです。精神科には潜在記憶(Cryptomnesia)という言葉があります。その経験は忘れられはしないが、思い浮かべる場合に自分の新しい思い付きとされるときに潜在記憶というと、ものの本に書いてあります。原作者がもしいたとしても、たとえ過去にその作品を読んだことがあったにしても、その事実は忘却され、思い浮かべるときは自分自身の考えとして産出されるわけです。我々の思考過程においても全く同じことが起こりうる可能性を秘めています。私はそれが怖いのです。私がかいているこの文も誰かの模倣・潜在記憶かも知れないのです。私自身がそれに気付かないだけに怖くなってきます。ひとつとではないのです。

昭和51年12月1日発行

発行所 西多摩医師会

東京都青梅市西分3-103

TEL (0428) 23-2171 (代)

会報編集委員 大河原 周 平林 信隆

松原 貞一 堤 次雄

吉野 住雄 鈴木 修

土田 守一 波田野洋夫

くらしの知恵と情報を

ホームバンクの埼玉銀行



# 埼玉銀行

青梅支店 (TEL.0428-22-1101) 福生支店 (TEL.0425-51-1021)  
東青梅支店 (TEL.0428-22-2121) 村山支店 (TEL.0425-61-1211)  
奥多摩支店 (TEL.04288-3-2515) 五日市支店 (TEL.0425-95-1311)

SANKEN

■ 健保適用 ■



ADELAVIN No.9

**特 長** ほ乳動物の新鮮な肝臓から抽出したエキスを成分としています。

**成分・分量** フラビンアデニンジヌクレオチド…10mg、  
アデニル酸並びにその誘導体・フラビンモノ  
ヌクレオチド・リポフラビンなどを含む  
肝臓抽出エキス…15 $\mu$ l (約15mg)

**適 応 症** 肝機能障害、ビタミンB<sub>2</sub>欠乏による疾患、  
消耗性疾患、薬物中毒、酒毒、ニコチン中  
毒。

**用法・用量** 1回1~4mlを1日1~数回、皮下、筋肉  
内または静脈内に注射します。

**薬 価** 1管 593.00

代謝改善剤 **アデラビン9号**



医薬品製造販売  
三和化学研究所  
名古屋市東区東外堀町2丁目3番地